

ロボテック戦略月次レター（2022年9月の振り返り）

ヘルスケア関連銘柄に強さ

軟調な株式市場の中、景気の影響を受けにくい医療テック企業が底堅い値動き

9月のグローバル株式市場（MSCI ACWI、米ドルベース）は大幅な下落となり、主要市場は軒並み6月につけた年初来安値を下回る水準で月を終えました。当月のロボテック戦略も、市場全体と同様に下落しました。エネルギー価格の上昇や幅広い物価上昇による消費減退への懸念などマクロ経済環境が、市場センチメントを引き続き支配しました。米連邦準備制度理事会(FRB)は、6月、7月に続いて3回連続で0.75%の大幅利上げを実施しました。



景気減速懸念で株式市場の下落が続いていますが、ヘルスケア関連銘柄は相対的に堅調であり、特に医療テック企業は景気の影響を受けにくいと見られています。

経済情勢は困難な状況にあるものの、労働市場は引き続き逼迫しており、高水準の求人件数が続いています。景気減速とともに労働市場の需給は幾分緩和される可能性があるものの、企業は依然として適切な人材を容易に獲得できない、あるいは労働コストが一段と上昇するといった問題に直面しています。これらの問題は自動化によって軽減が可能となることから、今後も自動化の需要を押し上げる要因になると考えています。

難しい経済情勢の中、2022年10-12月期および2023年の企業収益見通しは低下傾向にあります。まもなく四半期決算発表が始まることから、7-9月期の業績および10-12月期の見通しを注視しています。

強靱な資本構造を有する企業、低成長環境下でも力強い成長を維持へ

全般的に困難な局面が続いていますが、当戦略のポートフォリオ企業の大半（約75%）は利益をあげており、利益率も高く、優秀な経営陣により運営されています。当戦略のこれまでの実績が示す通り、負債が少なく強靱な資本構造を有する企業は、低成長環境になったとしても力強い成長を継続し、それが中長期に株価に反映されると考えています。

なお、ヘルスケア関連銘柄は相対的に堅調なパフォーマンスとなりました。デクスコム（糖尿病患者向け血糖値自動モニタリング機器）、アクソニクス（仙骨神経刺激装置）、グローバス・メディカル（脊椎手術用ロボット）などがプラス寄与となりました。医療テック企業は景気の影響を受けにくいと見られていることから、これらの銘柄は景気減速懸念で株式市場が軟調となる局面において底堅い値動きを示しました。

ポートフォリオの動向

当月は幅広い分野で軟調なパフォーマンスとなり、厳しい月となりました。中でも物流自動化関連銘柄は苦戦しました。ドイツの倉庫自動化ソリューションのKIONグループは投入コストの上昇を価格に十分転嫁できないこと、一部顧客の計画中止により注文キャンセルがあったことなどが利益に影響すると発表しました。ただ、当社ではこれは一時的なイベントとみています。半導体関連銘柄も全般的にマイナス寄与となりました。グローバル経済の減速に加え、米国が人工知能向け半導体の中国への輸出規制強化を図っているとの報道を受けての懸念などが影響しました。

電気自動車（EV）メーカー、テスラの買い増しも行いました。短期的には四半期生産・納品台数はサプライチェーン問題や中国のロックダウンの影響を受けると見られますが、同社の完全自動運転技術は着実に進歩を遂げており、ベルリン、上海、オースティン工場の稼働によって低コストでの生産が可能とし、事業の拡大や利益率の改善を支えると期待しています。なお、同社の7-9月期のEVの世界販売台数は、前年同期比42%増の約34万台となり、過去最多を更新しました。

8月にフランスのシュナイダーエレクトリックは約60%の株式を保有する英国のソフトウェア企業アヴィバ・グループの完全買収を検討していることを明らかにしました。9月にシュナイダーから正式発表され、買収観測が出る前の株価から約40%のプレミアムとなりました。この株価上昇を受けて、アヴィバ・グループを全額売却しました。

ディスクレーム

アクサIMについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は責任ある資産運用会社であり、長期的なアクティブ運用を行うことで、お客様、従業員、そして世界の繁栄を支援しています。当社の確信度の高い運用アプローチにより、代替資産クラスおよび伝統的資産クラス全般で最も良好な投資機会と考えられるものを追求しています。2022年6月末時点で約8,230億ユーロの運用資産残高を有しています。

アクサIMは、グリーン、社会、サステナブル市場における先進的な投資家であり、2021年12月末時点で5,630億ユーロにおよぶESG（環境、社会、ガバナンス）統合済みのサステナブルおよびインパクト資産を運用しています。当社は、2050年までに、全運用資産における温室効果ガス排出のネットゼロ達成をコミットしており、株式銘柄選択から企業行動や文化に至る当社の事業にESG原則が組み込まれています。当社の目標は、社会と環境に有意義な変化をもたらしつつ、お客様に真に価値のある責任投資ソリューションをご提供することです。

2021年12月末時点で、アクサIMは18カ国23拠点において2,400名超の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは、世界最大級の保険および資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-27588